



平成31年1月25日

素直な心が人間を幸せにする



〈きれいに曇った窓〉

感心していることがあります。それは、校内にある窓ガラスがきれいに曇っていることです。

寒くなると結露で窓が曇ります。つい、手で拭いてみたくなるものです。指で文字を書いてみたくなるものです。子供ならなおさらです。しかし、たくさんある窓ガラスには触った跡がありません。一つもありません。一度、窓ガラスに手や指の跡がつくと、ただちに曇ります。そんな窓ガラスも、ほとんど見当たりません。

本校の子供たちは窓の結露に興味がないわけではありません。実際、寒くなり結露し始めたころには、指の跡がある窓を見かけました。そこで、触るとガラスが汚れることを教えました。ここからは汚さないように気を付けているのです。そこに感心しています。一度、教えてただけで、このように浸透、徹底しているところがすばらしいです。

廊下を歩くともう一つ感心することがあります。それは、雑巾掛けにきちんと雑巾が掛けられていることです。これは3学期になり、徹底できるようになりました。学期初めに整頓することのよさを伝えたことで、全校に浸透しました。

日本を代表する実業家、松下幸之助さんは、「素直な心こそが人間を幸せにする」とし、「人間やるべきこと、なすべきことをきちんとやれるかどうか。逆になすべからざることは絶対にやらない。そういう振る舞いができるかどうか。」と述べています。本校の子供たちは、これができる「素直な心」をもっています。これが幸せにつながる礎となるものと思っています。



〈きちんと掛けられた雑巾〉

まだまだ寒い日が続きます。きれいに曇った窓ガラスがこれからも見られそうです。